



吉田市長(右)を表彰訪問した島田理事長(中央)と石井事務局長(横須賀市役所で)

横須賀のNPO 大臣表彰を報告

ひきこもり支援

国の今年度「子ども若者育成・子育て支援功労者表彰」で、横須賀市のNPO法人「アンガージュマン・よこすか」が内閣府特命担当大臣表彰を受け、島田徳隆理事長と石井利衣子事務局長が22日、市役所に吉田雄人市長を表彰訪問し、受賞を報告した。

同法人は2003年、ひきこもりの子どもや若者が

安心して過ごせるスペースを同市上町の商店街にオープン。06年には就労支援のため、「はるかぜ書店」を開店した。現在、不登校やひきこもりの支援として学習指導もしている。今年10月には、若者の自立支援で平屋建ての住居「シェアハウス」を開設、男性4人が共同生活を営んでいる。子どもから若者までの育成支援が評価され、2人は「私たちの活動が知られること、支援の輪が広がれば」と話していた。